

2014年8月2日（土）夏休み朗読会「朗読だから面白い！真夏の怪談話」

夏休み恒例となった朗読のイベント《真夏に聞きたい怪談話》を、今年も開催いたしました。朗読していただいたのは、視覚障害者による朗読グループの「こうぼこの会」の皆さんです。『雪女』など全9話、会場のたくさんの子どもたちだけでなく、大人も十分に楽しめるものとなりました。

朗読会が始まると室内は真っ暗に。影絵の蝙蝠が時折り会場を横切る中、朗読が始まると話し手の手元の電灯が暗闇に灯されます。終わると灯りは消され、また暗闇に…。



最初の朗読作品は「ユウレイノウタ」。「ユラユラユラ…」と、独特のリズムで始まるこの詩は、聞き手を怪談の世界に引き込んでいきます。朗読作品には怖いお話もありますが、コミカルなお話も盛り込み、お化けに会いたいお侍がお化けをおどかしてしまうという「ゆうれい屋敷」では、笑い声も上がりました。

今回の朗読会では新しい試みを行いました。朗読している方とは違う方がお話の中の幽霊の声を担当することで、客席からは突然に遠くから幽霊の低く大きな声が響いてくるという演出です。会場内は驚きと恐怖で大いに盛り上がりました。

会場内に用意した怪談話の本の特集コーナーもよく手に取っていただき、貸出を希望される方もいらして好評でした。

また来年も、怪談話を通して声の魅力を皆様にお届けしたいと思います。



こうばこの会の皆さんです。



会場での図書館の本の展示に、多くの方が手に取っていただきました。